

# 第8回栃木県中学アイスホッケー選手権大会について

栃木県アイスホッケー連盟

## 1 選手・監督・コーチについて

- ①試合前に、ベンチに入る選手・監督・コーチの検温・消毒をし、名簿一覧に体温を記入して事務所に提出する。入場の際にはマスクを必ず着用する。(厳守!)  
※検温や消毒は、各チームで行う。
- ②選手は、リンクに入る前に着替えを済ませ、リンク内では靴の脱着のみを行えるように努力する。(※控え室での着替えも可能であるが、人数制限は厳守する。)  
練習開始時間に間に合うように着替え等を行う。
- ③試合後は、速やかに着替えをして出口から退出する。
- ④ゲーム前、第1ピリオド後のインターバルにおけるミーティングを控え室で行ってよいが、10分間を目安に短時間で行えるよう努力する。その際、監督・コーチは必ずマスクを着用する。(※選手は、マスクを着用していないため大声を出さないようにする。)
- ⑤試合中、選手・監督・コーチは、プレーヤーズベンチにおいて適当な距離を保てるよう努力する。
- ⑥感染防止のため、試合中プレーヤーはパックを拾って、レフェリーやラインズマンに手渡さなくてよい。(※スティックでパックをラインズマンの方に送る行為は問題ない。)
- ⑦試合後は、ベンチ・控え室の消毒を行う。(※各チームで実施)
- ⑧相手選手が反則をした際に、氷上にいる選手やベンチにいる選手が、反則をした選手を大声で罵ったり、スティックで氷を叩いて煽ったりするような行為が「全中大会関東予選会」で頻繁に見受けられた。アイスホッケー選手としての誇りと相手選手への敬意を心にしっかり刻み込んでプレーする。(※全国の舞台で、栃木県代表として競技する選手としての誇りをもってプレーしてほしい。)

## 2 観戦について

- ①観戦者は、選手の保護者・選手が所属する学校関係者とする。観戦者の人数は、両チーム合わせて50名以内とする。(※各チーム25名以内。ただし、人数比については対戦するチーム同士で協議し、50名を超えない範囲であれば調整してもよい。)
- ②観戦場所は、2F応援席(両チームで30名)、1F入場口側フェンス周り(20名)それ以外の場所(プレーヤーズベンチの間、事務所側のフェンス周り等)での観戦は認めない。※観戦は、自チームの試合のみとする。
- ③観客者名簿を作成し、当日の検温の結果を記入して事務所に提出する。  
※検温や消毒は、各チームで行う。
- ④入り口以外からの入場は行わないようする。(※出口や開いているドアから入室しない。)  
※感染防止と規則を守ることで、互いに気持ちよく観戦できるようにするため。
- ⑤観戦者は、声を出しての応援を控え、声援に代えて拍手等で応援するようにする。
- ⑥試合後は、応援席等の消毒をする。(※各チームで実施)

## 3 オフィシャルについて

- ①オフィシャルの人数は7人。  
○アナウンサー1、タイマー2、ゴールジャッジ2、ペナルティーベンチ2)  
※シュート記録はペナルティーベンチ担当者が兼務する。
- ②練習開始の15分前までに集合する。
- ③マスク着用、飲食については飲み物のみ可とする。ゴム手袋、フェイスガードは連盟で準備(※必要な方は、オフィシャル時に申し出ること。)

★ゴミは、各自持ち帰る。

★各チームの選手控え室は、開催要項の「競技日程」に記載  
※対戦カードの左側が「A」 右側が「C」